

▼ワイキャンズ外用液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】カンタリジン Cantharidin 【分類】ウイルス性疣贅治療剤

【単位】▼アンプルアブリケータ 0.45mL (0.71%)

【常用量】3週間に1回、患部に適量を塗布し、塗布16～24時間後に石鹼を用いて水で洗い流す

8回の投与までに治療反応が得られない場合は他の治療法を考慮

【用法】患部のみ塗布

塗布後本剤を洗い流すまで塗布した皮膚に触れない

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】伝染性軟属腫に適用される外用剤。中性セリンプロテアーゼの活性化を介して、表皮のデスモソームを脆弱化し表皮構造を破壊することで塗布部位に水疱を形成する。水疱の形成により病巣皮膚が剥がれ落ち、その結果ウイルス感染組織が除去される。水疱形成による局所での炎症反応、免疫応答の促進が病変の消失に寄与すると推察。

【主な副作用・毒性】適用部位の異常

激しい痛み等が発現した場合には速やかに石鹼を用いて水で洗い流し直ちに医師等に相談

【安全性に関する情報】

【F】経口投与時 26.7% [イヌ] (1)

【tmax】

【代謝】

【排泄】吸収されたものは糸球体ろ過により排泄されると推定 (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】196.20

【透析性】

【OW 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20251228

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。